

# 留学体験レポート

21015006 石井千翔

4ヶ月間、韓国に留学しましたが、そこでの貴重な体験をいくつかつづりたいと思います。

まず、食事についてです。韓国の料理は辛いことで有名であり、私は辛い料理がとても好きなので、本場のいろいろな辛い料理が食べられると、とても楽しみにしていました。ところが、韓国に来てまだ間もないころに、ある食堂で食べたビビンクスという料理がとても辛く、全部食べることができませんでした。今までに食べたことがない、口が痛くなる料理で、これが本場韓国の味なのかと、辛さに驚きました。しかし、だんだん辛さに慣れてきたのか、学食や食堂の料理を食べても、食べられないという程の料理には出会わず、私が好きな辛さの料理ばかりでした。留学して2ヶ月くらいが経ったころ、日本でも販売している韓国のカップ麺があるのですが、それを食べました。韓国に留学する前からそのカップ麺は好きで、よく食べていたのですが、ずっとそればかりを食べているのはきつく、何か甘いものを一緒に食べていました。ところが韓国で久しぶりに食べてみたら、そこまで辛くなく感じ、そのカップ麺だけでも食べることができました。このとき、辛いものにもっと強くなったのだなと感じました。

次に、地下鉄についてです。日本でも電車によく乗るのでなおさら感じたのかもしれませんが、日本との違いに驚きました。まず、料金がとても安かったです。日本の場合、ある駅から遠くに行くほど、基本的に1駅ずつ値段が高くなっていき、安くても大人1人200円くらいはかかります。しかし韓国の場合は、一定の区間であれば値段が一緒で、基本料金130円程でした。日本では500円程かかりそうな距離のところまでも、韓国では130円で行くことができたので、とても驚きました。また、電車の中にも驚いたことがありました。日本の場合、車内での通話はやってはいけないとなっていますが、韓国ではそうはなっていないと、多くの人が普通に通話をしていたので、最初は少し驚きました。しかし、お年寄りや幼い子に席を譲るという行いはよく見られ、そこは日本と似ているのだなと感じました。

最後に、トウミ制度についてです。キョンヒ大学には「トウミ制度」といって、留学生一人ひとりに、韓国語の学習を助けてくれる学生がついてくれるという制度があります。私には、3週間の時にはヤンさんという女性、10週間の時にはユンさんという男性がついてくれました。ヤンさんとは、短い間だったのですが、いろいろな観光地に行きました。中でもインサドンという観光地は、とても気に入りました。京都のような雰囲気があり、韓服を着ている人が多くいました。私も韓服を着ながら歩き、とても楽しかったです。髪飾りまでもつける、本格的な韓服体験は初めてだったので、とても良い経験になりました。ユンさんとは、観光地に行くというよりも、カフェでお話をするとい

う機会が多かったです。初めの方は、あまり会話をすることができなかつたのですが、語彙力がついたので段々といろいろな話をすることができるようになり、とても楽しかったです。このトウミ制度は、本当に良いものであったなと感じました。

4ヶ月という短い間ではありましたが、充実した生活を送ることができ、本当に良かったです。